

## 第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日時 平成16年9月30日(木) 第5校時

児童数 男 5名 女 4名 計 9名

指導者 T1 渋谷 明 美

T2 渡辺 裕 子

(村田歯科医院 歯科衛生士)

1. 単元名 ぼく・私の歯と口 未来へ続く宝箱

2. 単元について

(1) 単元設定の理由

新学習指導要領では、めまぐるしく変化する社会においても主体的に対応し、たくましく生き抜いていく力の育成が求められている。そのような力を育成するためには、児童が自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に行動していく力[生きる力]を培っていくことが必要である。

第4学年の児童は保健学習において、健康の大切さや健康によい生活の仕方(食事・運動・休養) 身体の発育・発達(年齢による体の変化、思春期における身体の変化)を学ぶ。このことは、自分の身体の変化を理解するだけでなく、将来の健康な体を維持するための基本を学ぶ大切な学習である。しかし、健康の基本は理解していても自らその健康維持に関わる活動を取り入れていかなければ、文字通り絵に描いた餅に終わってしまう。そこで、保健学習での知識を生かし、総合的な学習の時間で児童一人一人が自ら課題を見つけ、考え解決する学習を進めることによって、健康の入り口とされる歯を生涯にわたって大切にしようとする態度が育つと考え、本単元を設定した。

(2) 児童について

今年度の歯科検診の結果を見ると、昨年度(今年2月)の歯垢検査では全員がA判定であったのに、わずか2ヵ月後の同検査において約半分の児童がB判定という結果となった。学期の初めに撮影する口腔写真は、児童にあらかじめ連絡をしてあり、児童自身もいつもより念入りに歯磨きをしている。しかし、前回と同じ箇所に歯垢染めが残っている児童が半数もあり、時間をかけていないにみがいているつもりでいても、実はいつもの箇所の歯垢が落としきれしていないことが窺える。このままでは、ほうっておくと永久歯のむし歯や歯肉炎の罹患者が増加していく心配がある。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては下記のこと留意したい。

今まで行ってきた歯と口の様々なデータ(歯科検診結果・口腔写真・歯垢検査など)から、現在の自分の歯みがきの様子を振り返らせ、このままではどんなことが考えられるか、解決策は何かなど、保健で学んだ知識から発展させ関心をもたせたい。また、

4月20日の第1回8月27日の第2回の口腔写真を基に自分の歯の模型を作成し、自分の口の中の状況を客観的にとらえさせ、自分自身が解決すべき歯みがきの課題は何かをつかませたい。

調べる段階においては、自分の課題・グループの課題を本・ビデオ・インターネット等で調べ、友達同士で教え合ったり、さらに専門の方から学んだりするなどして、課題を追求する態度を身につけさせたい。

まとめる段階においては、歯を守る技術だけでなく保健で学んだ知識も加味したものにさせたい。また来年度からは口内小の新しい歯みがき指導隊としての任務が待ちかまえているので、今回学んだことが自分だけではなく、全児童・自分の家族の健康維持にも役立てられることに気づかせたい。

### 3. 単元の目標

・これまでの自分の生活を振り返り、自らが抱えている問題や自分の歯並びの特徴を把握し、健康な体を作るために必要な歯の管理の仕方を調べたり考えたりし、分かったことをまとめることができる。

### 4. 指導計画と評価規準（計8時間）

段階	月	学習活動構想	時数	評価規準	備考
つかむ	9	ふれる 歯と口を中心にした健康づくりに関心を持つ。 ・自分の生活を振り返り、自らが抱えている歯と口の問題について考える。	1	課題発見力 歯科検診の結果や口腔写真を手がかりに自分の歯と口についての課題をもつことができる。	
		つかむ 自分の歯の様子を模型に表す。 ・歯科検診や口腔写真を手がかりにして自分の歯と口の様子を知り、課題をつくる。	3	課題発見力 自分の歯の模型から歯並びの特徴を知り、課題解決の方法を見つけようとする。	
		課題解決の方法を考え見通しをたてる。	1		
ふかめる	9	調べる 自分の歯並びにあった歯みがきの仕方を調べたり考えたりする。	1	実践力 自分の歯並びにあった歯みがきの仕方を調べることができる	グループ活動・情報収集 村田歯
		自分が調べたことやグループで調べ	1	対人関係力・実践力 調べたことや学んだこ	

	たことをより確かなものとするために 歯科衛生士さんから学ぶ。	( 本時 7 / 8 )	とを生かしながら歯を みがくことができる。	科歯科 衛生士
ま と め る	まとめる 効果的な方法で分かったことをまと めることができる。 今までの活動を振り返ることができる。	1	発表・表現力 分かったことをまとめ ることができる。 自己評価力 今までの活動を振り返 り反省することができる。	

## 5. 本時の指導

### (1) 目標

- ・自分の歯並びにあった歯みがきの仕方について調べたことを発表したり、歯科衛生士に学んだりし、歯にあった歯みがきの仕方を確かめることができる。

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価規準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね 満足できる	C 努力を要する 児童へのだて
対人関係力	課題解決のために自分やグループで調べたことを積極的に質問をすることができる。	課題解決のために自分やグループで調べたことを質問をすることができる。	質問ができるように自己のワークシートへの記録を手がかりにし、どんな質問事項を考えていたのか想起させ挙手をうながす。
実践力	歯みがきの順番に気をつけながら調べたことや学んだことを生かし自分の歯にあったみがき方をすることができる。	歯みがきの音楽に合わせて調べたことや学んだことを生かして歯をみがくことができる。	歯みがきが始まったから自分の歯垢付着箇所を確認させ、今どこをみがいているのか歯の模型を指させ注意を促す。

(

(3) 展開

段階	学 習 活 動		教師の支援と評価	備考
	教師の働きかけ	予想される児童の反応		
つかむ 5分	<p>1. 前時の学習を想起する。</p> <p>2. 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分の歯ならびにあった歯みがきの仕方をたしかめよう</p> </div>	<p>・自分（グループ）の歯垢の落とし方を考えた（調べた）</p>		<p>・自分の歯の模型</p> <p>・ワークシート</p> <p>・歯ブラシ</p>
ふかめ 30分	<p>3. 個人・グループ等で調べた結果を発表するとともに、疑問点や確認したい点などについて質問をする。</p> <p>4. 調べたことや T2 から学んだことを生かし、実際にみがいてみる。</p>	<p>・歯と歯茎の境目のみがき方は</p> <p>・奥歯のみがき方は</p> <p>・奥歯のみぞのみがき方は</p> <p>・前歯の表面のみがき方について</p> <p>・重なっている歯のみがき方は</p> <p>・歯の裏のみがき方は</p> <p>・今生えたばかりの歯のみがき方は</p> <p>・歯と歯の間のみがき方は</p> <p>・歯磨きの音楽に合わせて歯をみがく。</p>	<p>・子どもたちの疑問に答える（T2）。</p> <p>（評）課題解決のために自分やグループの疑問を質問することができたか。</p> <p>（評）調べたことや学んだことを生かして歯をみがくことができたか。</p>	<p>・自分の歯の模型</p> <p>・ワークシート</p> <p>・歯ブラシ</p> <p>・歯みがき CD</p>
まとめ 10分	<p>5. 実際にみがいてみて分かったこと、確かめられたことを発表する。</p>	<p>・調べたことの外にもみがき方があったことが分かった。</p> <p>・実際にみがいてみると、歯の模型とちがって、ほっぺたがじゃまでみがきにくかった。</p>	<p>・実際にみがいてみてたしかめられたことに着目し発表させる（T1）。</p> <p>本時のまとめを話す（T1）。</p>	